

宇都宮市立宝木小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「勉強していて『不思議だな』『なぜだろう』と感ずることがある」の肯定割合は80.4%で、県平均より1.5ポイント上回っている。普段から、児童の興味関心を大切に、指導に生かす工夫をしている成果の表れと考えられる。

○「先生は学習のことについてほめてくれる」の肯定割合は83.5%で県平均とほぼ同じ、「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」も肯定割合が90.7%と高く、県平均よりやや高かった。「むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」の肯定割合は79.4%で県より4.3ポイント上回っている。結果だけではなく学びの過程や頑張り、児童の意欲を認めてきた成果の表れと考えられる。

○「自分には、よいところがあると思う」の肯定割合は81.5%で、県平均より3.5ポイント、「家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」は87.6%で、県より4.1ポイント上回っている。ほめられることによって、自己肯定感が上がっていることがわかる。

●「ふだん(月～金曜)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDなどを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームはのぞく)」の質問では、「4時間以上」視聴している割合が県平均より3.2ポイント、「3時間以上4時間未満」視聴が県平均より4.1ポイント上回っており、視聴時間が長いことが分かる。一方で、「学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の質問では、3時間以上勉強している割合が、県のポイントより、5.1ポイント下回っており、家庭学習時間を「30分以上」～「3時間以上」と回答した合計では、県より16.8ポイント下回った。本校は、4年生は50分以上の家庭学習時間を推奨しているが、この結果から、家庭学習の習慣が定着していない様子がうかがえる。宿題だけでなく、宝木小「家庭学習の進め方」などを活用して、予習・復習や自主学習の例を挙げ、自分から学習することを見付けられるよう、保護者と連携して指導していきたい。

●社会の学習について、「次の教科の授業の内容はよくわかりますか」の肯定割合は8ポイント、「次の教科などの学習は好きですか」の肯定割合は14.1ポイント県平均より下回ったが、「次の教科などの学習は、しょう来的のために大切だとおもいますか」の肯定割合は96.9%と高く、県平均より3.9ポイント上回った。これは、昨年度に続き今年度も、コロナウイルス感染症対策のため、校外学習に行けず見学等ができなかったため、体験や具体物を通しての理解ができず、苦手意識が高まったものと考えられる。インターネットの動画やホームページ等を利用して、興味をもって学習できるよう、指導の工夫を図っていきたい。